

結果の分析・考察

国 語

1 調査結果の概要

| 受検者数(人) | 平均通過率(%) | 標準偏差 | 通過設問率が70%以上の生徒 |
|---------|----------|------|----------------|
| 17,655 | 69.0 | 18.4 | 58.0 |

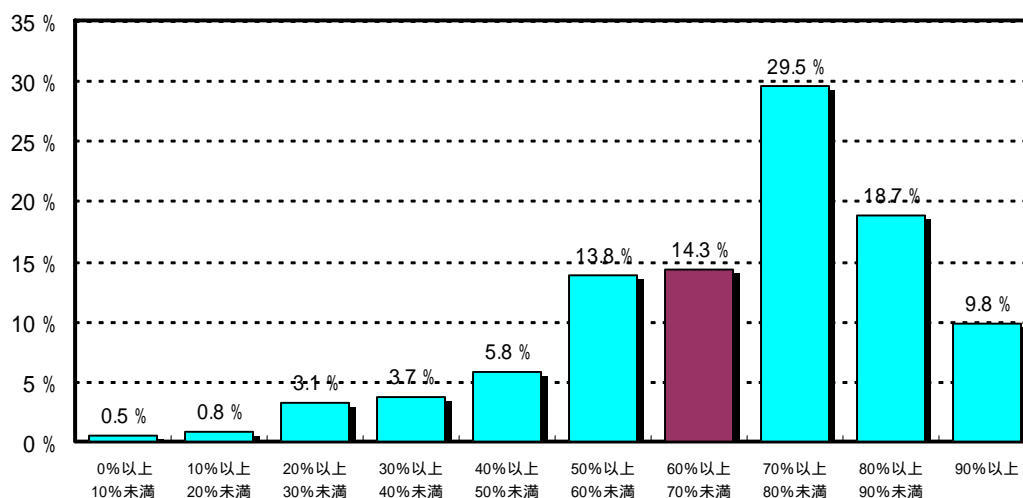
おおむね良好な点

話し合いの話題や異なる意見の要旨をとらえて的確に聞くこと
主題や要旨を把握しながら読むこと
漢語の構成を理解すること

不十分またはやや不十分な点

指示語の指し示す内容を理解すること
全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること
文脈に即して漢字を正しく書くこと

【通過設問率の度数割合のグラフ】

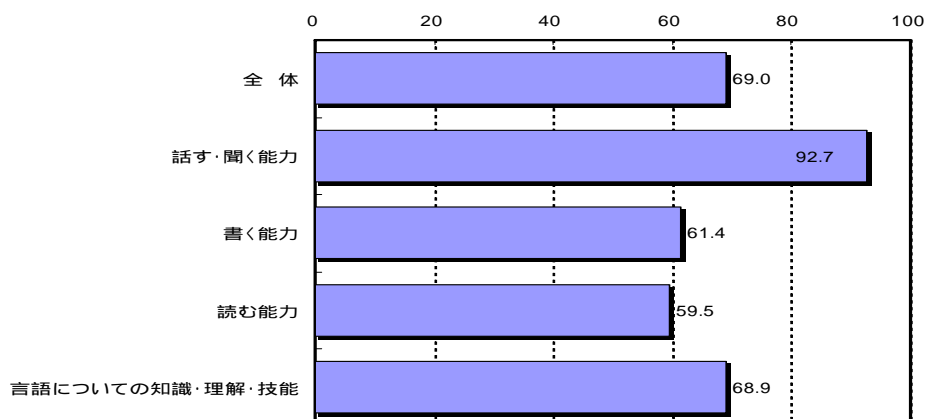


濃色部分は平均通過率の含まれる度数を示す。

国語では、平均通過率が69.0%であり、これを度数割合のグラフで見れば、通過設問率が70%以上の生徒が、58.0%いる。全体の形が平均通過率の含まれる度数域よりも右よりの山の形であることから、国語で求められる力はおおむね定着していると考えられる。ただし、通過設問率が70%未満の生徒も42.0%に上り、個に応じた指導・支援の工夫が求められる。

2 学力観点別状況の分析・考察・指導のポイント

【学力観点別通過率のグラフ(%)】



(1) 「話す・聞く能力」

各問の通過率は高く、話し合いの話題を正確に聞き取ったり、その流れに沿って異なる意見の要旨を把握したりする力はおおむね定着していると考えられる。

このような力を一層高め、自分の考えを深めていけるようにするためには、他者の意見や考えを再構成できるようなメモの取り方を指導することが必要である。その際には、話者の意見や考えとその根拠などの整合性を吟味する活動も取り入れたい。また、「書くこと」「読むこと」を主として学習する単元での話したり聞いたりする活動においても、相手や目的などを明確にした上で筋道を立てて話し合えるよう指導することが大切である。

(2) 「書く能力」

自分の立場や意図をはっきりさせて書くことはおおむねできているが、全体を見通した上で伝えたい事実や事柄を整理して論理的に書く力が弱い。ある程度の長さのある文章を書くことに慣れていない様子が見受けられる。記述式の問いに対しては無解答率が高くなるという傾向がある。

生徒が「書けない」原因・理由を確かめることが、まず必要になる。書くべき内容や材料が見付からないのか、構成や展開を考えることが苦手なのか、条件に応じて書くことができないのかなど、それらの原因・理由に対して具体的な指導・支援を計画的、継続的に行いたい。その際には、「適切な材料を選ぶ」「適切な構成を工夫する」「根拠を明らかにして論理の展開を工夫する」などのねらいに沿った指導を行うことが大切である。

(3) 「読む能力」

文学的文章における主題や説明的文章における要旨を把握しながら読むことはおおむねできている。ただし、指示語の指し示す内容を把握することや心情を表現する副詞句の意味を理解することは不十分である。

「読むこと」全般において、問いに対して自分の答えの理由や根拠を作品中の表現(言葉)に求めようとする姿勢を育てることが必要である。また、様々な文章に対する興味・関心を一層高めるとともに、形容詞や副詞などの心情語をとらえたり筋道を押さえたりする学習活動が大切である。さらに、目的や意図に応じて読書し、生活に役立つ

て、自己を豊かにしようとする態度を育成する指導を重視し、その工夫・改善を行いたい。その際には、広がりつつある朝読書の活動や他教科などの学習との関連を図ることも考えられる。

(4)「言語に関する知識・理解・技能」

漢語の構成についてはおおむね理解しているが、漢字の書き取りはやや不十分である。

ドリル学習や小テストでの学習だけにとどまらず、学んだ言葉を日常生活に生かすことができるように学習活動などを見直すことが必要である。

音声言語、語句、文法、書写などの知識・理解・技能についても表面的、形式的な理解に終わらせず、日常生活において、自分の考えや感情を効果的に表現したり、目的や場を意識した話し方や書き方などに役立てたりすることができるように指導していくことが大切である。

3 設問別の分析・考察・指導のポイント

| 問題番号 | | 出題の内容 | 評価の観点 | | | | 通過率 (%) | = 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント |
|------|-----|-------|-------|------|------|------|---------|---|
| 大問 | 小問 | | 話・聞能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語事項 | | |
| 1 | (1) | 聞き取り | | | | | 88.0 | <p>話し合いの話題の中心を聞き取る。 通過率の高さから考えれば、話し合いの話題を正確に聞き取り、把握する力はおおむね良好である。キーワード・キーセンテンスに注意しながら聞き取っていると考えられる。 話し合いについての学習では、学習活動に進んで参加し話題に沿って自分の意見や考えを述べたり、互いの立場や意見の共通点及び相違点を聞き分けたりする力を育てることが大切である。そのため、実際の話し合い活動では、話題の中心、流れをつかむだけでなく、自分の立場や意見を明確にすることが必要になる。</p> |
| | (2) | | | | | | 98.9 | <p>異なる意見の要旨を聞き取る。 話し合いの流れに沿って、異なる意見の内容をそれぞれとらえる力は良好である。ただし、(2) では通過率が98.5%と高いが、二つとも正解を選ぶことのできた生徒は80.4%と18.1%も低下する。聞き取りメモによる記録が不十分であることが、その要因の一つであろうと推測される。 様々な意見を聞き分け、自分の考えを深めていくためには、メモをとることが大切になる。他者の意見や考えを再構成できるようメモのとり方を指導する必要がある。 国語科の授業だけでなく、学校生活の様々な場面で「話すこと・聞くこと」の指導を行う必要がある。</p> |
| | (3) | | | | | | 79.9 | <p>表現の効果を確かめる。 「ぜんぜん」という陳述(呼応)の副詞が後続に否定表現を伴うことはおおむね理解できている。 生徒の言語生活においては、後続に否定表現を伴わない誤用がしばしば見受けられ、社会の一部でも誤用が広まりつつある。言葉は時代とともに変化するものではあるが、授業では、流行している言語表現ではなく、安定した言語表現を使用しようとする姿勢を育てる指導が必要になる。 作文を書き上げた際には、内容や表記などを必ず推敲する習慣を身に付けさせる必要がある。</p> |
| | (4) | | | | | | 85.5 | <p>立場や意図をはっきりさせて話し合う。 通過率の高さから考えれば、立場や意図をはっきりさせて自分の意見や考えを述べることはおおむね良好である。ただし、みんなの前で話すために書くという意識が不足している解答や筋道の整っていない解答も目立った。 同じ内容であっても、相手や目的などによってその表現方法や形式が異なることに気付くことができるよう、様々な表現方法や形式を言語活動の中で学習できるように配慮したい。</p> |

| 問題番号 | | 出題の内容 | 評価の観点 | | | | 通過率 (%) | = 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント |
|------|------|---|-------|------|------|------|---------|--|
| 大問 | 小問 | | 話・聞能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語事項 | | |
| 2 | (1) | 文学的文章 | | | | | 68.5 | 登場人物の心情を読み取る。 表現された言動などから、登場人物の心情を読み取ることはおおむねできている。 (1) の理由を尋ねた では、通過率が59.5%と低下している。確かな理由や根拠となる表現を作品中に求めることはやや不十分である。 心情などの内容をより適切に理解することができるようにするためには、直接的な表現だけでなく比喩などの表現の工夫をとらえ、その効果について考える学習も大切である。 |
| | | | | | | | 59.5 | |
| | (2) | | | | | | 45.9 | 登場人物の心情を読み取る。 同じねらいである(1)の問いに比べると、通過率が20%以上も低下している。本作品では「たけいち」が「僕」にとって唯一の「ヒーロー」として描かれていることから「3 さっそうと」が正答になる。「さっそうと」という副詞句の意味を理解できていない生徒が多いのではないかと考えられる。 文学的文章では、その作品における叙述によって呼び起こされる具体的なイメージを創造することが基本になる。形容詞や副詞など、心情表現によく使われる語彙はできるだけ多くの作品に触れることで培わせたい。 |
| (3) | 81.8 | 作品の主題を味わう。 本作品に描かれた「僕」と「たけいち」の姿から主題に迫ることはおおむねできている。 中学校国語科における文学的文章の学習では、描かれている登場人物の言動などからその心情をとらえた上で、人間や社会の在り方などを考えることが多くなる。精読することにより人物や社会の様子を確かにつかむ学習も必要になる。 | | | | | | |
| 3 | (1) | 説明的文章 | | | | | 85.3 | 事実と意見を読み分ける。 (1) の通過率の高さからは、客観的な事実と筆者の主観的な意見を読み分けることはおおむねできていると考えられる。しかし、 の理由を尋ねている では、通過率が36.8%も低下している。文末表現に着目して読み取るなどの読み解く技能を十分身に付けていないことが分かる。 は無解答率が14.1%と高くなっている。 の通過率の高さから考えると記述によって答えることを意図的に避けているとも考えられる。 読書量が多くなれば、表現された内容を実感的に読み取れる場合もある。そのような読み方にとどまらず、的確に読み取る力を育てるには、常に表現(言葉)の中に理解や判断の根拠を求める姿勢を育てることが必要である。 |
| | | | | | | | 48.5 | |
| | (2) | | | | | | 69.8 | 文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえる。 の通過率は70%前後であるが、正答率は とともに50%強である。このことから、文章の中心的な内容をほぼ的確に押さえることはできているが、得られた情報を整理することはやや不十分であると考えられる。 この文章では、コミュニケーションについての日本人とアメリカ人の感じ方や慣習を比較している。このようなAとBの比較・対照を行うという内容の説明的文章は多い。(2)で問われているように、文章から読み取った内容を表として表現したり、図に書いたりする学習も効果的である。 |
| | 72.2 | | | | | | | |

| 問題番号 | | 出題の内容 | 評価の観点 | | | | 通過率 (%) | = 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント |
|------|-----|-------|-------|------|--|------|---------|--|
| 大問 | 小問 | | 話・聞能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語事項 | | |
| 3 | (3) | 説明的文章 | | | | | 45.2 | <p>指示語に着目して内容を読み取る。</p> <p>45.2%という通過率から、指示語の指し示す内容を読み取る力はやや不十分であることが分かる。さらに、指示語の指し示す内容を答えているが、文末表現が不適切である解答が22.6%も見られた。指示語が指し示すと考えられる部分を指示語に代入して文脈が通じることを確かめるなどの技能を身に付けられるよう指導することが必要になる。</p> |
| | (4) | | — | 18.7 | <p>全体を見通して、書く必要のある事柄を整理する。</p> <p>国語科において通過率の最も低い問題である。また、無解答率も27.3%と際立って高い。全体を見通して、書く必要のある事柄をまとめる力は不十分である。なお、「相づちやうなずき」の例ではなく「視線のやり取り」等の例を挙げた生徒が8.6%いる。この生徒たちは、読み取りに課題があることになる。</p> <p>生徒が「書けない」原因・理由を確かめることが、まず必要である。書くべき内容や材料が見付からないのか、構成や展開を考えることが苦手なのか、様々な条件に応じることができないのかなど、それらの原因・理由に対して具体的な指導・支援を計画的、継続的に行うことが大切である。</p> | | | |
| 4 | (1) | 書き取り | | | | | 26.1 | <p>文脈に即して漢字を正しく書く。</p> <p>文脈に即して漢字を正しく書くことは通過率が高くない。の「さかあがり」は特に26.1%と低い。「さかあがり」という言葉自体は生徒にとって身近なものであることから、日常生活において漢字をあまり使っていないのではないかと考えられる。</p> <p>漢字の書き取り(字形・送りがな・用法など)については、興味・関心を高めつつ反復的、継続的に指導し、日常生活で実際に使いこなせる力を育てたい。また、同訓異字や同音異義語については、取り立て指導により文脈に沿って使い分けを確実に進めるよう指導することも大切である。</p> <p>文章を書く様々な学習活動における指導と関連を図って指導することが必要である。</p> |
| | | | | | | | 47.4 | |
| | | | | | | 56.4 | | |
| | | | | | | 70.7 | | |
| (2) | | 語句の構成 | | | | | 85.1 | <p>語句の構成を理解する。</p> <p>5問いずれの通過率も高い。漢語の構成についての理解はおおむね良好である。漢字の書き取りのやや不十分な状況と考え合わせると、漢字の字形そのものをいかに定着させるかが課題であることも分かる。</p> <p>接頭語・接尾語、複合語、略語などの構成及び語形の変化についても、意味とのかかわりを大切にしながら理解することにより、語句の使用が一層豊かになるよう指導することが大切である。</p> |
| | | | | | | | 81.3 | |
| | | | | | | | 80.1 | |
| | | | | | | | 81.6 | |
| | | | | | | | 80.5 | |

4 小学校・中学校における指導のポイント

国語科では、「言語の教育としての立場」が重視されており、最も基本的な目標は国語による表現力と理解力の育成である。今回の調査では、表現力の育成に課題がやや多いことが明らかになった。表現力向上のためには、学習指導要領に示された言語活動例を踏まえ、一層工夫することによって、各領域の指導内容と言語活動との密接な関連を図り、児童生徒の主体的な学習活動を促すことが必要である。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」いずれの言語活動も、実際の生活場面では、相手、目的、場面や状況に応じた表現様式が求められる。そのため、児童生徒の学習活動においては、現実的な場面に即した目的や相手などを設定した言語活動の場を工夫し、それぞれに対する意識を高めつつ、表現力と理解力を育成することが重要である。

「小学校」

日常生活に必要な言語能力を育てるためには、言語活動における相手や目的などの設定を身近なものから始め、繰り返し学習する中で次第に社会への広がりを持たせることが大切である。

各領域において、年間を通してどのような言語能力を育てるのか明確にする必要がある。教科書掲載の教材や言語活動をよく分析し、それを通してどのような言語能力が育てられるかを明確にする。例えば、「調査をして報告をする」という言語活動は、「話すこと・聞くこと」にも「書くこと」にも示されている。これは、話すときの報告と書くときの報告に様式やプロセスの違いがあるということである。それぞれの様式やプロセスはどこが共通でどこが違うのか、このようなことを理解した上で、指導と評価の計画を立てることが重要である。

漢字の指導については、「読み」「書き」や意味・用法などを総合的に学習することが大切である。なお、「書き」については、文や文章の中で確実に使いこなせるよう2学年間をかけて継続的に指導する必要がある。

「中学校」

社会生活に必要な言語能力を育てるためには、言語活動における相手や目的などの設定を実際の社会生活に幅広く目を向けたものにすることが大切である。

文章や談話で述べられた社会や人間の在り方などについて理解し、自分の思いや考えを確かに持ち、それを表現する力を育てるためには、その内容あるいは構成や展開を具体的に取り上げて吟味したり評価したりする学習活動を行うことが重要である。

また、自分の思いや考えを的確に表現させる際には、意見や感想の個人発表だけでなく、生徒同士の話し合い等の交流場面を設けることが、自分の思いや考えを深化させたり新たに創造したりする上で効果的である。

漢字の指導については、小学校で用いられている学年別漢字配当表についての理解を一層深め、高学年で学習した漢字については、字形、意味及び用例を確認しながら、学習を進めていくことが大切である。また、「書くこと」「読むこと」の学習において意図的に習得させるべき漢字や語句を取り出して指導するなどの工夫が求められる。

ナレーター

司 会

田中さん

これから、六年生のある学級の授業の様子を放送します。まず、田中さんが一分間スピーチをします。そのあと、この話題をめぐって話し合いをします。今から、その様子を放送します。大事だと思うところはメモをとりながら、しっかりと聞いてください。放送を聞いたあと、問題に答えましょう。それでは、これから田中さんに一分間スピーチをしてもらいます。みなさんには、スピーチのあとで意見を言ってもらいますので、メモを取りながら、きちんと聞いてください。田中さん、どうぞ。

はい。わたしは、「こめんなさい」という言葉について考えたことを発表します。

日曜日に、お母さんとスーパーマーケットへ買い物に行きました。お店は、夕方なので買い物客で混雑していました。お母さんがかごに乗せた買い物車を押しながら進んでいくと、反対方向から来た、よそのおばさんの買い物車とぶつかってしまいました。そのときすぐに、うちのお母さんは、「こめんなさい。」と行ってあやまりました。そのおばさんも、「いいえ、こちらこそすみません。」と言って、にっこりおじぎをして行ってしまいました。どちらの車の中の品物も、床に落ちたりはしませんでした。

わたしは、変だなと思いました。なぜかという、ぶつかったのは相手が悪かったからなのです。そのおばさんは、欄に並んでいる品物に見とれながら、前も見ずにどんどん進んできたのです。わたしはどう考えても、おばさんの方が先にあやまるべきだと思いました。お母さんは、「これでいいよ。」と言っただけでした。

でも、わたしは、こちらが悪くない場合は、相手があやまる前に、すぐに、「こめんなさい」と言うのは、あまり、いいことではないと考えました。みなさんはどう思いますか。さあ、今の田中さんのスピーチを聞いて、みなさんはどう思いましたか。田中さんの意見に反対の人から発表してください。

(はい。はい。(子どもたちの声))

(聞)

では、手を挙げている三人、こちらから順に発表してください。

A

B

C

司 会

司 会

E

F

G

ナレーター

わたしは、田中さんの考えに反対です。お母さんのしたことに賛成です。お店の中でちょっとぶつかったりした、こういう場合には、たぶん両方に責任があるのではないかと思えます。だから、先に、「こめんなさい」と言った方がいいと思います。

ぼくも田中さんに反対です。先に言った方がいいと思います。「こめんなさい」と先にあやまっておけば、苦情を言われることもないし、口げんかにもならないですむと思います。だから、ぼくも、田中さんのお母さんのしたことに賛成です。ぼくも、反対です。田中さんのお母さんのように、自分が悪くなくても、「こめんなさい」とすぐに言えば、相手の方も、はっとして、すぐに「こめんなさい」と言うと思います。そうすると、いやな気持ちにならないですむと思います。だから、すぐに「こめんなさい」と言うことに賛成です。

次に田中さんの意見に賛成の人。

(はい。はい。(子どもたちの声))

(聞)

では、今の三人、こちらから順に発表してください。

わたしは、田中さんの意見に賛成です。田中さんも言うているように、悪いのはおばさんの方ですから、自分の方から先に言う必要はないと思います。相手が悪いと気付くまで黙っていた方がいいと思います。

ぼくも同じ意見です。この場合は、何もなかったからこれでよかったのですが、買った品物がゆかに落ちて、こわれたり、よこれたりすることもあります。そんなときは「こめんなさい」と先に言えば、責任がこちらにあることを認めることになってしまいます。

わたしも田中さんの意見に賛成です。悪くないのにこちらから言うのには反対です。わけもなく、相手のこきげんをとるような言い方はいけなくと思います。

(聞)

これで放送を終わります。

では、先生の「始め」の合図があったら、中を聞いて問題に答えてください。

① 放送を聞いて、(1)～(4)の問いに答えましょう。

【通過率】
88.0%

(1) 田中さんの一分間スピーチと、そのあとの話し合いで中心となっている話題はどんなことですか。もつともふさわしいものを次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

- ① 相手に、いつあやまるかということについて
② 自分に責任がないのに、先に「ごめんなさい」ということについて

- 3 ものがこわれたり、よごれたりしたときの責任について
4 スーパーマーケットでの買い物の仕方について

(2) 田中さんのスピーチと、そのあとの話し合いの中で出された内容は、どれでしょうか。①・②それぞれの意見の理由を次の1～4の中から二つずつ選び、その番号を書きましよう。

【通過率】
98.9%

① 先に「ごめんなさい」と言った方がよいという意見

② 「ごめんなさい」とすぐに言えば、おたがいにいやな気持ちにならないですむから。

2 「ごめんなさい」と先にあやまれば、相手と仲よくなれるから。

③ 両方に責任があると思うので、先に「ごめんなさい」と言った方がいいから。

4 「ごめんなさい」と先にあやまることが礼儀だから。

【通過率】
98.5%

② 先に「ごめんなさい」と言わない方がよいという意見

1 混雑していたり、おたがい、いそがしかったりしているときは仕方がないから。

② わけもなく、相手のごきげんをとるような言い方はいけないから。

3 口げんかにならないようにだまっている方がよいから。
④ 悪いのは相手だから、自分から先に言う必要はないから。

【通過率】
79.9%

(3) 田中さんは、次のような原稿をあらかじめ書いていました。文中の言葉づかいの不適切なところを直して、書き改めましよう。

日曜日に、わたしは母とスーパーマーケットへ買い物に行きました。お店は、夕方なので買い物客でぜんぜん混雑していました。

日曜日には、わたしは母とスーパーマーケットへ買い物に行きました。お店は、夕方なので（とても）買い物客で混雑していました。

(4) 田中さんのお母さんのしたことについて、あなたほどのように考えますか。あなたの考えとそう考えた理由を、学級のみんなの前で話をするように、原稿用紙に百字ぐらいで書きましよう。

【通過率】
85.5%

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線(=)で消したり、行間書き加えたりしてもかまいません。

わたしは、お母さんのしたことについて賛成です。なぜかというと、こちらにも責任があるから、先にあやまる方がお互いに気持ちがいいと思うからです。

2 次の文章を読んで、(1)～(3)の問いに答えましょう。

幼い頃から僕はヒーローというものを持ったことがない。プロレスラーや、野球選手に憧れ彼らをヒーローと崇めるようなそんなごく普通の少年期の経験を持ってはいないということだ。せいぜい明日のジョーという漫画の主人公矢吹ジョーが好きだった程度で、それとて所詮漫画の世界のこととわりとクールだったのである。

しかし、よく考えてみると薄れた記憶の中に、一人それに応じてはまる人物がいる。彼をヒーローと呼ぶのが相応しいかどうかはやや疑問だが、まあそんなヒーローもおもしろかろうとここで紹介してみることにした。「一番乗り」というあだ名を持つ彼は、僕が中学校二年生のとき、鹿児島から移ってきた転校生で、本名を原田たけいちといった。

たけいちとはにかく学校に登校するのが異常に早かったのである。いつも一番乗りだった。彼より早く学校に登校する奴はクラスの中にはいなかったのだ。つまり彼が登校してくるところを見たことがある者がいなかったということである。一時期たけいちが学校の用務員室にでも泊まりこんでいるのじゃないか、という噂さえたったほどであった。

ある日、僕はたけいちがどんなに早く登校するかを知りたくて、早起きすることにしたのである。正確な時間はもう今は思い出せないが、いつもより一時間は早い登校だったと思う。僕にとって一時間は非常に辛い早起きだったのである。子供ながらに凄い低血圧で、おまけに深夜放送ファンだったからだ。僕

じらうこともなく、家族のためさ、といったのだ。これは後で判ったことだが、たけいちには父親がいなく母親と妹の三人暮らしだったのである。叔父という人が生活の扶助をしていたらしいのだが、もちろんそれだけでは足りず、彼は僕らが寝ている時間にああして家族のために働いていたのである。僕がその日以来早起きを心がけるようになったのはいうまでもない。たけいちが立ち尽くす僕に新聞を一部手渡すと、くると背を見せ、その場を [] 走り去ったのである。原田「一番乗り」たけいち、彼は僕の中学時代の唯一のヒーローであった。

(注) 扶助＝手助けすること

(注) 仁成「そこに僕はいた」より

【通過率】
68.5%

(1) 「随分早いなだね、と笑うのだった。」とありますが、このことについて、次の①、②の問いに答えましょう。

① 「たけいち」の言葉を聞いた「僕」の気持ちにもっともふさわしいものを次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

- 1 自分が先に登校できてよかったというほっとした気持ち
- ② 相手を出し抜くのに失敗して、ばかにされたような気持ち
- 3 誰よりも早く登校しようと努力する相手への尊敬の気持ち
- 4 自分の唯一のヒーローとして、かっこよく思う気持ち

3 次の文章を読んで、(1)～(4)の問いに答えましょう。

- 1 日本人は、相手と向かい合ったときに、おたがいに視線を合わせながら話することが苦手だと言われている。
- 2 対話中に視線をさけようとするのは、ヨーロッパやアメリカの社会では、自信がないのか、劣等感やうしろめたさの表れと考えられている。一方、日本では、相手の目をじっと見ることは、相手の心の中を読み取ろうとするようで、失礼だとされることもある。視線を交わす・交わさないことの意味に大きな差があると言える。
- 3 そこで、話すときに視線が合うことをさける日本人の行動について、日本に住む外国人がどのように感じているかをたずねたところ、次の回答が得られた。
 - ア 相手の目を見ないのは失礼だ。 四%
 - イ 失礼ではないが、話しにくい。 三八%
 - ウ 特にどうとも思わない。 五四%
 - エ 無回答・その他。 四%
- 4 ①この調査では、「失礼だ。」と思う人はごくわずかしかなかった。②これは、アンケートに答えてくれたのが、ふだんから日本人と接する機会が多い人たちであったためである。③そのような人でも、約四割は、やはり「話しにくい。」と答えている。④対話中、気持ちのやり取りの一手段である視線のやり取りが行えないからであると思われる。
- 5 ヨーロッパやアメリカの人たちが、気持ちのやり取りの手段として、対話中にさかんに視線を交わすのに対して、おた

(1) 第4段落について、次の①、②の問題に答えましょう。

- 【通過率】 85.3%
- ① 第4段落は(A)～(D)の四つの文でできていますが、筆者の考えがふくまれていている文を二つ選び、その文の記号を答えましょう。 (B) (D)
- 【通過率】 48.5%
- ② また、その二つを選んだ理由を簡単に説明しましょう。文末に「であろう」「思われる」と書いてあるから。
- (2) 筆者は、ヨーロッパやアメリカの人たちと日本人とを比べると、視線のやり取り、相づちやうなずきの意味がちがうと述べています。その意味のちがいが分かるように、次の表にあとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

| 【通過率】 | 【通過率】 |
|------------|-----------------------|
| 72.2% | 69.8% |
| ②相づち・うなずき | ①視線のやりとり |
| 3 | 4 |
| c | a |
| 日本人にとっての意味 | ヨーロッパやアメリカの人たちにとっての意味 |
| 1 | 2 |
| d | b |

- 1 話を聞いているという合図
- 2 相手の心を読み取ろうとするようで失礼な行動
- 3 相手の意見に対する積極的な同意
- 4 気持ちの交流の手段

がいの視線を合わすことをさける日本人は、しきりに「うなずき」を用いる慣習がある。ちよつと観察すればわかることだが、相手の話を聞いているときに、絶え間なく、うなずきや「うん」「ええ。」などの相づちを打っている。この相づちやうなずきは、ほとんどの場合は「あなたのお話を聞いていますよ。」といった程度の合図として使われている。これは、話し手との気持ちのつながりをそこなわないようにする態度の表れだと見ることもできる。

6 一方、ヨーロッパやアメリカの人たちの間では、相づちやうなずきは、相手の意見に対する積極的な同意を意味する。

7 このように、視線のやり取りや相づち・うなずきなどの意味が異なっているわけである。だから、両者の中で誤解が生じないようにするためには、おたがいがこのことについて十分な知識をもって話し合う必要がある。

(国立教育政策研究所による文章)

(3) 第7段落の「このこと」とは、何を指しているでしょう。文章中の言葉を用いて答えましょう。

【通過率】 45.2%
視線のやり取りや相づち・うなずきなどの意味が異なっていること。

(4) 第5・6段落を読んで、ヨーロッパやアメリカの人たちと日本人との間で生じられると思われる誤解の例を、一つ考えて書きましょう。

【通過率】 18.7%
憶み事の相談をしているのに、相づちやうなずきをしていないヨーロッパやアメリカの人に対して、日本人が「話を親身になって聞いてくれない」と不信感をもつ。

4 次の問いに答えましょう。

(1) 次の——部を漢字に直しましょう。
 なお、必要なときには送りがなを書きましょう。

【通過率】 26.1%
 ① 休み時間にさかあがりの練習をしました。
 逆上がり

【通過率】 47.4%
 ② ストップウォッチで時間をはかる。
 計る

【通過率】 56.4%
 ③ この本はかちがある。
 価値

【通過率】 70.7%
 ④ えいようをしっかりとる。
 栄養

(2) 漢字を組み合わせて熟語をつくろうとしています。例にならって正しい熟語になるように、空いている□に適切な番号を書きましょう。

(例)

1 粉
2 害
3 暗

① 3 室

② 花 1

| | |
|---|---|
| 5 | 1 |
| 提 | 判 |
| 6 | 2 |
| 富 | 忘 |
| 7 | 3 |
| 敵 | 指 |
| 8 | 4 |
| 質 | 演 |

【通過率】 80.5%
 ⑤

| |
|---|
| 豊 |
| 6 |

【通過率】 80.1%
 ③

| |
|---|
| 8 |
| 易 |

【通過率】 85.1%
 ①

| |
|---|
| 5 |
| 案 |

【通過率】 81.6%
 ④

| |
|---|
| 4 |
| 奏 |

【通過率】 81.3%
 ②

| |
|---|
| 裁 |
| 1 |

正誤欄凡例{ = 正答, = 準正答, × = 誤答}

| 通し 番号 | 問題番号 | | 評価の観点 | | | | 解答類型 | 転記する 番号 | 正誤 |
|----------|-------------|-----|-------|----|----|---|------|------------|----|
| | | | 話・聞 | 書く | 読む | 言語 | | | |
| 1 | (1) | | | | | 2と解答しているもの | 1 | | |
| | | | | | | 1と解答しているもの | 2 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 2 | (2) | | | | | 1と3を解答しているもの(順序は問わない) | 1 | | |
| | | | | | | 解答のうち,1を解答しているもの (1と2,1と4,あるいは1だけ解答しているもの) | 2 | | |
| | | | | | | 解答のうち,3を解答しているもの (2と3,3と4,あるいは3だけ解答しているもの) | 3 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 3 | 1 | (2) | | | | 2と4を解答しているもの(順序は問わない) | 1 | | |
| | | | | | | 解答のうち,2を解答しているもの (2と1,2と3,あるいは2だけ解答しているもの) | 2 | | |
| | | | | | | 解答のうち,4を解答しているもの (4と1,4と3,あるいは4だけ解答しているもの) | 3 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 4 | 【話し合いの聞き取り】 | (3) | | | | (例)日曜日に,わたしは母とスーパーマーケットへ買い物に行きました。お店は,夕方なので(とても)買い物客で混雑していました。 陳述の副詞の誤用「ぜんぜん混雑していました」を適切に書き改めているもの 表記及び漢字の部分的な誤りは許容する。 | 1 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 5 | (4) | | | | | (例)わたしは,お母さんのしたことに賛成です。なぜかという、こちらにも責任があるから、先にあやまる方がお互いに気持ちがいいと思うからです。 話題に即して自分の意見(考え), そう考えた理由をはっきり述べており, 話すように書く工夫(「です」「ます」の敬体でほぼ全体を書いているもの)があり,よく理解できるもの 表記及び漢字の部分的な誤りは許容する。また,全体の字数の多い少ないや原稿用紙の使い方は問わない。 | 1 | | |
| | | | | | | は書けているが, 話すように書く努力が見られないもの | 2 | | |
| | | | | | | は書けており, 分かりやすく話すように書く努力が見られるが, 理由がはっきりしなかったり,意見(考え)につながらなかつたりしているもの | 3 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |

正誤欄凡例{ = 正答, = 準正答, × = 誤答}

| 通し 番号 | 問題番号 | | 評価の観点 | | | | 解答類型 | 転記する 番号 | 正誤 |
|----------|--------------|-----|-------|----|----|--|---|------------|----|
| | | | 話・聞 | 書く | 読む | 言語 | | | |
| 6 | 2 | (1) | | | | | 2と解答しているもの | 1 | |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |
| 7 | 【文学的文章の読み取り】 | (1) | | | | | 3と解答しているもの | 1 | |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |
| 8 | (2) | | | | | 3と解答しているもの | 1 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 9 | (3) | | | | | 2と解答しているもの | 1 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 10 | (1) | | | | | BとDを解答しているもの(順序は問わない。) | 1 | | |
| | | | | | | 解答のうち、Bを解答しているもの (AとB、BとC、あるいはBだけ解答しているもの) | 2 | | |
| | | | | | | 解答のうち、Dを解答しているもの (AとD、CとD、あるいはDだけ解答しているもの) | 3 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 11 | 3 | (1) | | | | | (例)文末に「であろう」「思われる」と書いてあるから。 おおむね同意の内容を解答しているもの 表記及び漢字の部分的な誤りは許容する | 1 | |
| | | | | | | | 理由を問う内容にふさわしい文末表記でないもの | 2 | |
| | | | | | | | 「ごくわずか」「やはり」を含む解答をしているもの | 3 | × |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |
| 12 | (2) | | | | | A欄に4、B欄に2と解答しているもの | 1 | | |
| | | | | | | 上記のうち、上の順でどちらかを解答しているもの 同じ記号を解答しているものは、9「上記以外の解答」に含める | 2 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 13 | (2) | | | | | C欄に3、D欄に1と解答しているもの | 1 | | |
| | | | | | | 上記のうち、上の順でどちらかを解答しているもの 同じ記号を解答しているものは、9「上記以外の解答」に含める | 2 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |

| 通し 番号 | 問題番号 | | 評価の観点 | | | | 解答類型 | 転記す る番号 | 正誤 |
|----------|-------------------|-----|-------|----|----|----|---|------------|----|
| | | | 話・聞 | 書く | 読む | 言語 | | | |
| 14 | 3 | (3) | | | | | (例)視線のやり取りや相づち・うなずきなどの意味が異なっていること おおむね同意の内容を解答しているもの 表記及び漢字の部分的な誤りは許容する | 1 | |
| | | | | | | | 指示語の内容にふさわしい文末表記でないもの | 2 | |
| | | | | | | | 「このように」を含むもの | 3 | |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |
| 15 | 【説明的文章の読み取り】 | (4) | | | | | 主に「対話中の相づちやうなずき」に対する意味の違いから生ずる誤解について述べており、具体例とそこから生ずる誤解(不信感等)について話の筋道に無理(矛盾)がないもの (例) 悩み事の相談をしているのに、相づちやうなずきをせずじろじろ見てくるヨーロッパやアメリカの人に対して、日本人が「話を親身になって聞いてくれない」と不信感をもつ。 大事な約束について話をしているのに、やたらと相づちやうなずきをしておきながら結局断ってくる日本人に対して、ヨーロッパやアメリカの人が「いいかげんだ」と不信感をもつ。 | 1 | |
| | | | | | | | については書けているが、話の筋道に無理(矛盾)がみられるもの どちらが誤解しているかがはっきりしないもの | 2 | |
| | | | | | | | 話の筋道に無理(矛盾)はみられないが、「相づちやうなずき」ではなく「視線のやり取り」等について述べられているもの | 3 | × |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |
| 16 | 【漢字や語句等の知識・理解・技能】 | (1) | | | | | 「逆上がり」と解答しているもの | 1 | |
| | | | | | | | はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | |
| | | | | | | | 送りがなに誤りがあるもの | 3 | |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |
| 17 | (1) | | | | | | 「計る」と解答しているもの | 1 | |
| | | | | | | | はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | |
| | | | | | | | 送りがなに誤りがあるもの | 3 | |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |
| 18 | (1) | | | | | | 「価値」と解答しているもの | 1 | |
| | | | | | | | はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | |
| | | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × |
| | | | | | | | 無解答 | 0 | × |

正誤欄凡例{ = 正答, = 準正答, × = 誤答}

| 通し 番号 | 問題番号 | | 評価の観点 | | | | 解答類型 | 転記する 番号 | 正誤 |
|----------|------|--|-------|----|---------------------------------|------------------------|------|------------|----|
| | | | 話・聞 | 書く | 読む | 言語 | | | |
| 19 | (1) | | | | | 「栄養」と解答しているもの | 1 | | |
| | | | | | | はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | | |
| | | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | |
| | | | | | | 無解答 | 0 | × | |
| 20 | (2) | | | | 5と解答しているもの【提案】(漢字で書いてもよい) | 1 | | | |
| | | | | | 漢字で書いていて、はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | | | |
| | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | | |
| | | | | | 無解答 | 0 | × | | |
| 21 | (2) | | | | 1と解答しているもの【裁判】(漢字で書いてもよい) | 1 | | | |
| | | | | | 漢字で書いていて、はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | | | |
| | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | | |
| | | | | | 無解答 | 0 | × | | |
| 22 | (2) | | | | 8と解答しているもの【貿易】(漢字で書いてもよい) | 1 | | | |
| | | | | | 漢字で書いていて、はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | | | |
| | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | | |
| | | | | | 無解答 | 0 | × | | |
| 23 | (2) | | | | 4と解答しているもの【演奏】(漢字で書いてもよい) | 1 | | | |
| | | | | | 漢字で書いていて、はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | | | |
| | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | | |
| | | | | | 無解答 | 0 | × | | |
| 24 | (2) | | | | 6と解答しているもの【豊富】(漢字で書いてもよい) | 1 | | | |
| | | | | | 漢字で書いていて、はねやはらい、画の長短等の正確さに欠けるもの | 2 | | | |
| | | | | | 上記以外の解答 | 9 | × | | |
| | | | | | 無解答 | 0 | × | | |

設問別：通過率と反応率

国 語

| 問題番号 | | 正答率 | 通過率 | 解答類型ごとの反応率（全県） | | | | | | | | | | | |
|------|----|------|------|----------------|------|------|------|---|---|---|---|----------|------|------|------|
| 大問 | 小問 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | αその他の誤答) | 無解答 | | |
| 1 | 1 | 76.7 | 88.0 | 76.7 | 11.3 | | | | | | | | 11.5 | 0.4 | |
| | 2 | 1 | 89.2 | 98.9 | 89.2 | 6.4 | 3.3 | | | | | | | 0.7 | 0.4 |
| | | 2 | 80.4 | 98.5 | 80.4 | 5.4 | 12.7 | | | | | | | 1.0 | 0.5 |
| | 3 | 79.9 | 79.9 | 79.9 | | | | | | | | | | 17.8 | 2.3 |
| | 4 | 65.0 | 85.5 | 65.0 | 10.3 | 10.2 | | | | | | | | 9.4 | 5.1 |
| 2 | 1 | 1 | 68.5 | 68.5 | 68.5 | | | | | | | | | 30.8 | 0.7 |
| | | 2 | 59.5 | 59.5 | 59.5 | | | | | | | | | 39.6 | 0.9 |
| | 2 | 45.9 | 45.9 | 45.9 | | | | | | | | | | 53.0 | 1.1 |
| | 3 | 81.8 | 81.8 | 81.8 | | | | | | | | | | 17.3 | 0.9 |
| 3 | 1 | 1 | 67.8 | 85.3 | 67.8 | 8.9 | 8.7 | | | | | | | 12.0 | 2.7 |
| | | 2 | 44.2 | 48.5 | 44.2 | 4.3 | 0.7 | | | | | | | 36.8 | 14.1 |
| | 2 | 1 | 51.5 | 69.8 | 51.5 | 18.3 | | | | | | | | 25.9 | 4.4 |
| | | 2 | 53.7 | 72.2 | 53.7 | 18.5 | | | | | | | | 23.2 | 4.6 |
| | 3 | 21.2 | 45.2 | 21.2 | 22.6 | 1.4 | | | | | | | | 43.6 | 11.3 |
| | 4 | 10.4 | 18.7 | 10.4 | 8.4 | 8.6 | | | | | | | | 45.3 | 27.3 |
| 4 | 1 | 1 | 16.4 | 26.1 | 16.4 | 1.0 | 8.7 | | | | | | | 57.6 | 16.3 |
| | | 2 | 45.1 | 47.4 | 45.1 | 1.3 | 1.1 | | | | | | | 37.1 | 15.5 |
| | | 3 | 54.7 | 56.4 | 54.7 | 1.7 | | | | | | | | 22.9 | 20.7 |
| | | 4 | 64.9 | 70.7 | 64.9 | 5.8 | | | | | | | | 13.5 | 15.7 |
| | 2 | 1 | 84.3 | 85.1 | 84.3 | 0.8 | | | | | | | | 4.4 | 10.5 |
| | | 2 | 80.9 | 81.3 | 80.9 | 0.4 | | | | | | | | 8.3 | 10.5 |
| | | 3 | 79.6 | 80.1 | 79.6 | 0.4 | | | | | | | | 8.7 | 11.3 |
| | | 4 | 81.2 | 81.6 | 81.2 | 0.4 | | | | | | | | 7.1 | 11.3 |
| | | 5 | 80.2 | 80.5 | 80.2 | 0.3 | | | | | | | | 7.8 | 11.7 |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

選択肢(解答類型)が白抜きになっている選択肢は「正答」の選択肢であることを示しています。網掛けの選択肢は「準正答」の選択肢であることを示しています。